

銅

銅・銅合金鑄物等6月統計、輸送が重石に

経済産業省による6月の銅・銅合金鑄物生産(トン)と青銅・黄銅のバルブコック、ガスメーター、水道メーターなど製品生産(個数)といった、黄銅棒・青銅合金地金等の需要に関する統計をまとめた。

6月の鑄物生産は前年同月比2.4%増の6,833トンで4ヶ月連続のプラス。内訳は、バルブコック用は7.3%増の2,278トンで4ヶ月連続のプラス、産業機械器具は22.6%増の1,208トンで4ヶ月連続のプラス、軸受メタルは2.5%増の733トンで2ヶ月ぶりのプラス、その他は3.3%減の842トンで4ヶ月ぶりのマイナス、輸送機械は10.6%減の1,771トンで18ヶ月連続のマイナス。

一方、個数の方は青銅・黄銅バルブコックは14%減の110万8,000個で12ヶ月連続のマイナ

ス。ガスメーターは26.9%減の42万5,070個で7ヶ月連続のマイナス。水道メーターは8.2%減の36万6,883個で4ヶ月連続のマイナス。企業の設備投資は抑えられたままで、新築住宅需要も好調なのは都心部に集中しておき、厳しい状況が続いている。

なお、ガスメーターは7月の生産がすでに発表されており、それによると26.3%減の40万3,718個となっている。

アルミ・銅 高価買受

柳金属産業(株)

072-770-3582
日刊金属を見た
お申しつけ下さい

銅・銅合金鑄物生産推移

	バルブ コック	産業機 械器具	軸受メ タル用	その他	輸送機 械	合計
6月	2124	985	715	871	1980	6876
7月	2139	872	594	912	1798	6314
8月	2012	824	517	866	1620	5839
9月	2072	772	548	876	1842	6110
10月	2180	845	595	958	1809	6388
11月	2256	915	609	913	1663	6355
12月	2109	1023	632	961	1756	6381
2010年1月	2181	1016	530	867	1622	6217
2月	2240	993	596	917	1701	6447
3月	2286	1111	727	960	1881	6965
4月	2245	1142	722	850	1729	6689
5月	2142	1151	625	776	1668	6363
6月	2278	1208	733	842	1771	6833
前年同月	7.3%	22.6%	2.5%	-3.3%	-10.6%	2.4%

単位トン

	青銅・黄 銅バルブ	ガスメ ーター	水道メ ーター
6月	1288	581691	399809
7月	1013	547958	513218
8月	897	478062	518861
9月	946	473963	477816
10月	1094	444863	383837
11月	1083	381679	277040
12月	1043	320506	251021
2010年1月	988	322335	200710
2月	1011	370010	256995
3月	1097	379876	270233
4月	1030	408818	194347
5月	992	403207	185698
6月	1108	425070	366883
前年同月	-14.0%	-26.9%	-8.2%

バルブは千個、ガスと水道は個



8月の銅スクラップ月刊レポート及び9月の見通し

橋本金属×アルミ・橋本健一郎氏

世界景気後退懸念
9月は一転供給過剰へ

概況：前半、米国のISM指数(製造業景況感指数)の悪化や中古住宅販売成約指数の大幅下落を受けてセンチメントが悪化するもドイツの5月の小売売上高0.4%から3%の大幅上方修正したことを好感、欧州懸念が後退しLME銅も7400ドルと大幅上昇となった。後半、米・英の経済見通しの下方修正や住宅指数の悪化を受け米景気後退懸念が台頭する中、LME銅も7000ドル近辺まで下落するも欧州圏の第二クォーターの経済指数を好感する形でのユーロ高ドル安、WBM S発表の1-6月期の世界銅需要で8万トンの供給不足の報を受けテクニカル買いが殺到、8月30日現在で7390ドル、建値は64万から68万へ9月は大幅上昇か。

7月の経済指標：日本自動車工業会発表によると

自動車生産台数は前月比+0.7%の86万6762台。8月発表の自動車生産計画は3面掲載の表通りとなっている。国土交通省発表の新設住宅着工戸数は前月比+0.1%の6万8785戸数であった。(前年同期-3.4%)

貿易関連指標：財務省貿易統計によれば、輸出では電気銅が4万2725トン(前月比+2.3%)、スクラップは2万2571トン(前月比+24.7%)となった。輸入では電気銅が5826トン(前月比-19.5%)、スクラップが5507トン(前月比-32.3%)となった。

6月の国内指標：日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前月比-0.6%の7万5920トン(前年同期+5.7%)、日本電線工業会発表の出荷速報(推定)では前月比+5.4%の5万9700トンであった。(前年同期+8.6%)

見通し：7月は伸銅品生産が前月比でついに3ヶ月ぶりに下落。自動車生産も前月比で+0.6%の86万台と伸び悩み。銅電線出荷量は前月

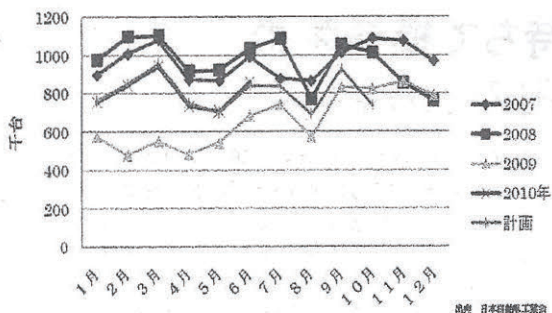
比+5.4%の5万9700トンと唯一健闘、新設住宅着工数も前月比+0.1%の6万8千戸台と伸び悩んだ。銅原料に関しては供給が銅建値が68万-70万程度で推移したため生産回復した4月分の原料が夏季休業前のリスク売りから放出され改善したと考えられる。銅原料全体では10月

の自動車生産が前月比で20%減との計画を受け供給過剰気味。価格は銅建値ベースの銅・合金スクラップは景気対策息切れによる米景気後退、円高による日本経済下振れ懸念、などを受けてLMEに関しては下値7000ドル上値7200ドル。銅・銅合金スクラップに関しては銅建値で63万程度と予測している。

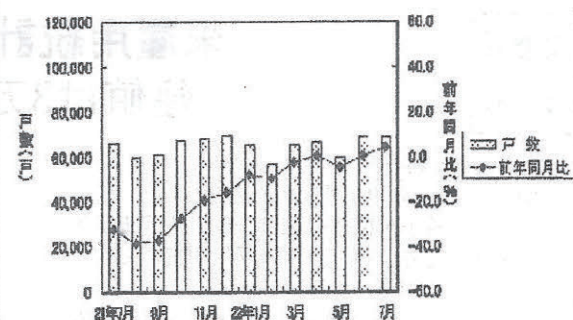
自動車生産台数	5月	6月	7月
生産台数	70万8453台	88万1045台	86万6782台
前月比	-3.2%	+21.5%	+0.6%
前年同期	+11.8%	+27.2%	+8.5%
計画台数	8月	9月	10月
計画台数	68万8700台	92万8400台	73万8千台
前月比	-17.5%	+34.8%	-20.5%

新設住宅着工数	5月	6月	7月
日本新設住宅着工数	5万9911戸	6万8888戸	6万8785戸
前月比	-10%	+14.7%	+0.1%
前年同期	-5.1%	+8.7%	-3.4%

自動車生産実績/計画



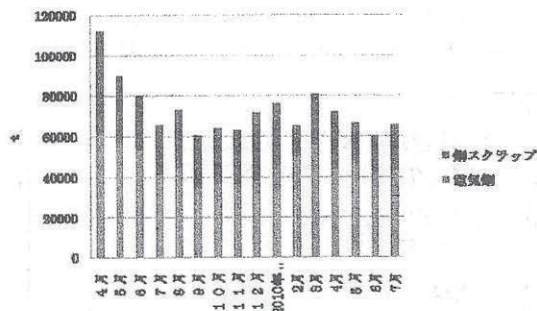
新設住宅(戸数・前年同月比) 出典 国土交通省 統計



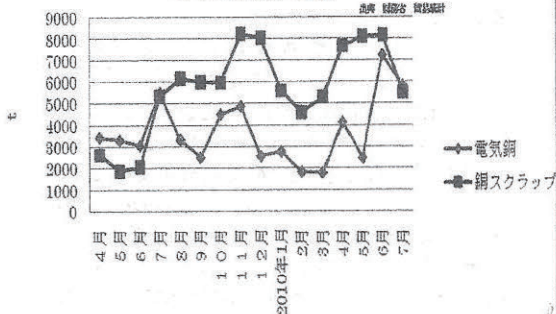
輸出	5月	6月	7月
電気銅	4万6296t	4万1772t	4万2725t
前月比	+5.6%	-9.8%	+2.3%
スクラップ	2万456t	1万8103t	2万2571t
前月比	-27.8%	-11.5%	+24.7%

輸入	5月	6月	7月
電気銅	2468t	7239t	5826t
前月比	-40.18%	+93.1%	-19.5%
スクラップ	8108t	8145t	5507t
前月比	+6%	+0.5%	-32.3%

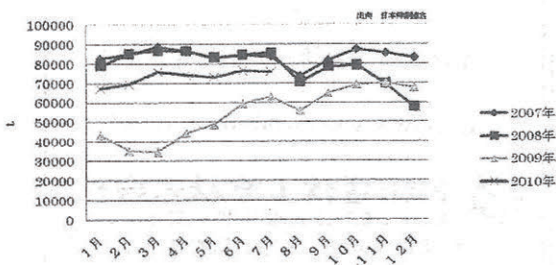
09-10年銅輸出推移



09-10年銅輸入推移



伸銅品生産推移



銅電線出荷推移

